2026 年 11 月 19 日
イオンディライト株式会社

第 8 回 イオンディライト技術コンテスト【警備・清掃・設備の部】を開催

～人手不足・技術継承に、現場発のイノベーションで挑む～

イオンディライト株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長兼社長執行役員 グループ CEO：宮前吾郎、以下「当社」）は、11 月 10 日、11 日、16 日に「第 8 回イオンディライト技術コンテスト」を開催しました。

人手不足や技術継承など、施設管理を取り巻く課題が多様化する中、当社では、現場の知見と技術を掛け合わせた課題解決を進めています。

本コンテストでは、警備・清掃の部で業務効率化・品質向上につながる改善成果を、設備の部では安全・安心を支える緊急対応の精度とスピードを競いました。

【発表の様子】



【警備の部】



【清掃の部】



【設備の部】

★最優秀賞

- 警備の部（参加 13 チーム）：武漢小竹物業管理有限公司代表チーム
- 清掃の部（参加 16 チーム）：当社関西支社代表チーム
- 設備の部（参加 10 チーム）：環境整備株式会社代表チーム

警備の部

【最優秀賞】
武漢小竹物業管理有限公司代表チーム
『武漢 4SC 厨房無人火災警報システム導入』
（発表内容）

厨房では、火災につながる異常をいち早く捉え、対応することが課題となっており、従来の巡回・点検に加え、IoT を活用して厨房内の温度と人の有無を常時監視する仕組みを導入。機器の温度と周囲の人の状況を把握し発報の要否を判断。現場では音声と光で注意を促すとともに、消防コントロール室でも温度と映像を遠隔で確認し、警備員が迅速に対応します。

また、温度と周辺状況を組み合わせて異常を判断することで、不要な警報や出動を抑制。火災リスクの早期発見・対応と、警備業務の効率化、安全性の向上につなげています。



警備の部では、スマートメンテナンスに特化した発表を行った国内 8 支社の中から、北海道支社代表チームが優秀賞に選ばれました。

【優秀賞】
当社　北海道支社代表チーム（警備会社：ALSOK 北海道株式会社）
『スマートメンテナンスがもたらす警備業務の効率化と安全性の向上』
（発表内容）



受付や警戒業務の効率化と施設の安全性向上に向け、遠隔シャッター、警備ロボット、顔認証・鍵 BOX、AI 行動認識システムなどを導入。受付の無人化などにより、1 日あたり延べ 22 時間相当の業務を削減し、固定配置していた警備員を巡回や緊急時・イベント時の対応などへ再配置しました。
また、AI が転倒者を自動検知することで、発見から連絡までの時間を短縮し、迅速な対応につなげています。人とシステムそれぞれの強みを組み合わせ、効率化によって生まれた人の力を、より安全性を高める業務に活かしています。

【警備コンテストの当社社長宮前の総括】
国内外の発表を通じて、デジタル技術を積極的に活用する海外の先進的な取り組みと、日本の現場が培ってきたきめ細かな対応、それぞれの強みが感じられました。当社のスマートメンテナンスは、単に人を減らすためのものではなく、テクノロジーを活用して警備品質を高めるとともに、警備員がより働きやすい環境をつくることが重要です。

清掃の部

【最優秀賞】
当社　関西支社代表チーム
『特定技能外国人スタッフとの協働による、働きやすい現場づくり』
（発表内容）



同チームが清掃業務を行う医療施設では、特定技能外国人スタッフを含む多様なメンバーが働く中、言葉の壁や清掃手順、情報共有など、より働きやすい現場づくりに向けた課題がありました。
そこで、朝礼を日本語とインドネシア語で説明するほか、AI を活用した業務指示書の作成などにより、円滑な情報共有を促進。国籍を越えて互いに助け合うチームづくりを行いました。
さらに、特定技能外国人スタッフからの提案により定期清掃を直営化し、日本人スタッフから技術を学びながら主体的に担当することで、技術力の向上とコスト削減を実現。また、デジタルツールや清掃ロボットの活用、「働きやすさミーティング」など、現場の声を起点とした改善を重ね、対応力とチームワークの向上につなげています。

【清掃コンテストの社長総括】
清掃は、お客さまが店舗や施設を利用される際に最初に目にし、肌で感じるものであり、当社のサービス品質そのものです。その最前線を支えているのが現場で働くスタッフであり、お客さまが快適に過ごせる当たり前の日常は、一人ひとりの丁寧な作業や気配り、小さな気づきの積み重ねによるものです。
今後、人材不足や環境変化が進む中においても、新技術やデジタルを活用した効率化と、人にしかできないきめ細かな気配りを組み合わせることで、スタッフの負担を軽減しながら、お客さまに「ここなら安心して任せられる」と感じていただけるサービスを、パートナー企業の皆さまとともに築いていきましょう。

設備の部

【最優秀賞】
環境整備株式会社代表チーム





各チームは、電気主任技術者 1 名を含む 2 名一組で構成され、停電原因の特定から解消、復電、関係者へ報告までの手順に従い、いかに安全かつ正確・迅速に復電を遂行できるかを競いました。

【設備コンテストの社長総括】
いずれの競技からも、設備に携わる者としての誇りと、お客さまの事業を止めないという強い使命を感じることができました。
電気をはじめ設備の安全・安心は、お客さまの店舗や施設の営業、そして地域の皆さまの暮らしを支える土台であり、当社が社会に果たすべき、最も大切な使命の一つです。その最前線を担っているのが設備の業務に携わる人たちです。トラブルの際も、冷静に原因を見極め、安全を最優先に、確実かつ迅速に復旧へと導く。そのためには、確かな技術力とともに関係者と連携し、お客さまに寄り添い、状況を的確に伝える人間力が欠かせません。本日の競技は、まさにその両方を兼ね備えた設備管理の専門家集団を目指す私たちの姿そのものであったと思います。

◆技術コンテスト全体の社長総括
今回のコンテストで得られた気づきや優れた取り組みを、国内外のグループで共有するとともに、品質向上と利益改善、スタッフが誇りとやりがいを持って働ける環境づくりに活かしていきたいと思います。そして、スマートメンテナンスをはじめとする先進技術と、人にしかできない経験に基づく判断力や気配りを組み合わせ、各業務のさらなる品質向上につなげていきましょう。



【警備の部】



【清掃の部】



【設備の部】



当社は、設備管理・警備・清掃の各事業で IoT や DX を活用したスマートメンテナンスを進めております。こうした先進技術と現場の知見を組み合わせ、お客さまへのきめ細かな対応や人材育成にもつなげていきます。今後も、当社は継続的な取り組みを通じて、「人間力」と「技術力」を兼ね備えた専門人材を育成し、施設およびその周辺環境の「安全・安心」に一層貢献してまいります。

【発表者として参加した協力会社および当社グループ会社（各エリア内の掲載は五十音順）】
[国内]（株）アスクメンテナンス、ALSOK 北海道（株）、イオンディライトコネクト（株）、
イオンディライトセキュリティ（株）、（株）コアズ、（株）立花警備保障、（株）白青舎、環境整備（株）、
国際セーフティー（株）、セコムジャスティック上信越（株）
[中国]武漢小竹物業管理有限公司、永旺永樂（亞洲）有限公司
[ASEAN]AEON DELIGHT(MALAYSIA) SDN.BHD.、AEON DELIGHT(VIETNAM) CO., LTD.、
PT Sinar Jernih Sarana

── 本リリースに関するお問い合わせ先 ──
イオンディライト株式会社
コーポレート・コミュニケーショングループ
TEL：03-6895-3892